

平成 26 年度（2014 年度）事業報告

（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

「事業の概要」

平成 26 年度は協会の主要事業や八王子市受託事業が市当局や関係諸団体、協会会員皆様のご支援ご協力で事業計画に盛り込まれた内容を予定通り実施することができました。

特に「世界の人とふれあいタイム」10 周年記念事業の開催や「第 35 回記念八王子いちよう祭り祭典、テーマ “世界発信！世界の人との国際交流”」の企画運営に参加して、民族舞踊や音楽の披露等で式典会場を飾り国際交流に貢献しました。

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックにかかわるマスコミ取材があり、読売新聞多摩版“いちよう祭り国際交流に力”、読売新聞全国版“在来外国人活躍の機会”、日本経済新聞全国版“東京五輪でオモテナシ、多国籍チーム始動”の記事が掲載されるなど広報宣伝活動に努めました。

I. 『生活・コミュニケーション支援事業』

1. 「語学ボランティア」

語学ボランティアは、市から受託している「サポートデスク」、「行政書士による外国人個別相談」や協会の各種の事業、八王子市や各種団体・個人からの依頼による通訳・翻訳を行いました。市の海外友好交流都市の交流事業の通訳に加えて、八王子まつり案内所の通訳を行い国際交流に寄与しました。また、「語学ボランティアの集い」を年 2 回開催し、災害対応文章の翻訳のポイントの講義や防災訓練の体験および翻訳訓練とコミュニティ通訳のロールプレイングを行いました。スキルアップに加えて語学ボランティア同士の情報交換の場となり交流を深めました。

2. 「医療ボランティア」

本年度も一般市民、語学ボランティア等を対象に「医療通訳ボランティア研修会」を年 2 回実施し、内科と歯科について学び、ロールプレイングを行い、ボランティアのレベルアップや認知度の向上を図りました。また、市の平成 26 年度版検診ガイドを英語、中国語、韓国語、スペイン語に翻訳しました。八王子市保健センターからの予防接種のお知らせに医療通訳の案内や医療通訳カードを同封するなど、昨年同様に普及活動に努めました。

3. 「留学生のための就職支援セミナー」

留学生の就職活動に必要な知識、スキル等を提供する「就職支援セミナー」と八王子市内の優良企業を訪問する「企業めぐり」を実施しました。特に、日本企業に就職した先輩との交流ラウンジは好評で、大いに盛り上がりました。

4. 「日本語ボランティア養成講座」

基礎講座では「日本語ボランティアの心構え」と「日本語の特徴や学習の仕方」を重点に行いました。ステップアップ講座では実践に即した「やさしい日本語」を主題に行いました。講座終了後に、日本語ボランティア団体の活動紹介や先輩ボランティアとの懇談を行いました。ボランティアを始める受講者の割合が高くなり呼びかけの効果がありました。

5. 「防災・災害対応」

語学ボランティア研修会で災害時に必要な翻訳技術や応急救護訓練を受けて、スキル向上や情報交換ができました。さらに町会・自治会・市民センターでの防災訓練に参加して模擬体験をし、防災設備や手順を確認しました。

6. 「学習支援」

在日日数の短い小・中学生の学習者数が増えつつあります。4 月に「八王子駅前学習支援教室」を開設しました。「北野学習支援教室」と合わせて、学習者が通いやすい教室を選べるようになりました。「日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンス」では、事前に通訳とスタッフのための研修を行い、ガイダンス全てに 5 か国語の通訳を配して実施し、現役の中学・高校の教師の協力で、生徒と保護者に日本の教育の仕組みや進路のアドバイスを行いました。

II. 『国際交流事業』

1. 「留学生八王子ふるさとプログラム」

留学生とファミリーが一堂に会する全体交流会を年3回開催し、留学生とファミリーの交流を図りました。秋期入学・編入の留学生が増えていることを考慮し、ファミリーと留学生の個人交流ではなく、留学生がいつからでも参加できる交流会を主とした活動としました。

2. 「国際交流フェスティバル」

「今、八王子からはじまる絆 ～Peace by Pieces～」をテーマに、16か国70名の外国人ボランティアの参加を得て、楽しく有意義な国際交流イベントが開催できました。ステージパフォーマンス：12組（うち外国6組）、異文化交流：13か国の出展、遊び（日本：3組、外国：5組）など国際色豊かな発表に加えて、市民参加の「笑顔の写真展」、フェイスペイントなど子どもが楽しめる遊び体験やチェロの演奏体験、八王子の観光案内など幅広く展開しました。

3. 「世界の人とふれあいタイム」

全4回、4か国のゲストスピーカーが映像などを交えながら、出身国の歴史・文化や現状などについて紹介し、参加者との交流を図りました。また4月20日（日）に10周年記念懇親イベントを開催して、過去のゲストスピーカー8名を迎えて関係者や参加市民との賑やかな交流を行いました。また10周年記念誌を発行し配布しました。

4. 「地域における国際交流」

「第35回記念八王子いちよう祭り」が“世界発信！世界の人と国際交流”をテーマに記念事業として開催されました。当協会は「地域の外国人市民と地域住民との国際交流」を目的に取り組み、民族舞踊や音楽の披露等の企画・運営を行い、多くの市民に国際色をアピールする機会となりました。

III. 『国際理解事業』

1. 「語学シリーズ」

春・秋・冬期に分け5言語全9コースの語学講座を実施しました。受講者の強い希望もあり、今年度から最大3回まで受講できるようにしました。トピックスをフリーに話し合う形式の「時事英語」は受講者から好評を得ています。語学学習を通してその国の歴史や文化などに触れ、国際理解や多文化共生社会の促進に寄与しました。

2. 「国際理解教育」

学校での国際理解教育授業に、JICA多摩地区デスクとともに協力しました。職場訪問・職場体験活動として市内学校教員の研修ならびに市内中学生の受入れなどを行いました。10月に新生成った委員会を発足し、今後、学校での国際理解教育授業への協力体制を強化できるようになりました。

IV. 『広報事業』

協会活動を多くの市民に理解してもらうことを目的に、積極的に各メディアなどへの情報提供に努めました。「世界の人とふれあいタイム」10周年記念事業、「国際交流フェスティバル」などが放映または記事が掲載されました。特にいちよう祭りでは第35回記念事業に“世界発信！世界の人との国際交流”が企画されて、11月15日（土）、16日（日）2日間、外国人市民による民族音楽・芸能を舞台パフォーマンスで披露した模様は、約1時間にわたりテレビ生放送中継や特別番組で再放送されました。また、2020年東京五輪でおもてなしを行う在日外国人の活動が日本経済新聞（夕刊）の全国版に大きく掲載されて八王子国際協会の知名度を高めました。「世界の人とふれあいタイム」の催しが読売新聞多摩版に紹介され、「よみっこ」にも度々掲載されるなど地元での知名度が向上しました。

会報「地球市民プラザだより」を日本語版以外に英語版、中国語版も発行しました。また会報に国際協会の団体会員の紹介コーナーを設けインタビュー形式で取材し6団体の紹介記事を連載しました。

また、読みやすく、外国人にわかりやすい情報提供を目的に、ホームページのリニューアルを進めました。

V. 『八王子市からの受託事業』

1. 「在住外国人のためのサポートデスク」

八王子在住外国人の増加や認知度の高まりとともに相談件数も増加し、問題は複雑化し多様化しています。問題解決のための専門家や他機関との連携もより緊密にできるようになってきました。あわせて「行政書士による外国人個別相談」を毎月1回実施し、在留資格や国際結婚・離婚などの相談に対応しました。外国人市民にとって開かれた相談窓口として定着しています。

2. 「外国人のための無料専門家相談会」

今年度の相談会は、相談者数は17組(21人)、相談件数は20件で、専門家(弁護士、行政書士、社会保険労務士)や市の相談員が相談に応じました。八王子市外からの相談者も来場して、PRの効果を実感しました。外国人相談における法律の基礎知識を学ぶ研修会やシミュレーションによる本番時の流れの事前確認を行ってから本番に臨んだので、当日はスムーズな運営ができました。

3. 「外国人市民の地域への防災訓練参加」

片倉台自治会、北野町町会の2地域での防災訓練に参加しました。外国人が居住する町会・自治会主催の防災訓練に参加することにより、外国人への支援スキームの周知が浸透して、訓練へ参加する外国人の増加が期待できるようになりました。また、町会、自治会内での外国人市民に対する関心度も高まりました。

4. 「国際理解教育プログラム開発および講演会等」

中学生授業用のプログラム「八王子市における多文化共生」を作成しました。市民のための国際理解講座「カルタ・紙芝居で学ぶ移民の歴史と多文化共生」や「異文化を知れば日本がわかる」の各講演会を開催して、市民の啓発を図りました。また、教員のための国際理解教育ワークショップ「多文化共生をめざす内なる国際理解教育への一歩」を開催しました。

5. 「コミュニケーション支援事業」

学習支援指導者等への研修会を「日本語を母語としない子どもとの関わり方を考える」ことを重視して実施しました。

外国人市民のネットワークの構築および外国人キーパーソンの育成を行いました。Facebookを活用してフィリピン人、スペイン語圏人のコミュニティを新たに結成しました。グループイベントを年8回開催して各コミュニティグループへの参加者の拡大と活動の充実に努めました。またFacebookの活用法等の研修会などを行い参加者の拡大とレベルアップを図りました。

VI. 協会内の横断的活動など

委員長会議を年2回、団体ネットワーク会議を年2回、個人会員懇談会を開催し、協会活動の説明、情報交換や課題共有の場として成果がありました。委員長会議では「多文化共生のまちづくりと国際協会の役割」(講師:森茂理事)、「多文化共生のまちづくりについて」(講師:八王子市多文化共生推進課平本課長)の各講演を行い、委員会活動について有意義な意見交換が行えました。団体ネットワーク会議では、各団体の活動報告や連携策について話し合い、中間支援組織である国際協会との連携強化や会議室の先行予約等課題の共有に努めました。

個人会員懇談会では、テーマ「心が響きあう“共感的な聴き方”」(講師:前田理事)の研修会を行ない、懇親会は会員同士の出会いと学び合いの場となりました。また東京都国際交流委員会主催の委員会活動や都国際化フォーラムへの参加や東京都内の区市の国際交流協会との交流、情報の交換などに積極的に取り組みました。

VII. 中長期に向けたプロジェクト委員会での検討

国際理解教育プロジェクト委員会は、9月に理事会で正式に委員会として承認されて活動を再開しました。協会の今後のあり方プロジェクト委員会は、7月に法人化推進プロジェクト委員会と名称を変えて法人化に向けた活動を継続して行っています。「法人化までの工程表」を作成し、「市長への要望書」等を検討しています。

VIII. 環境整備など

本年度は職場の環境の改善を図りました。図書の整理、古い機器の廃棄、文書ファイルの見直しなど整理整頓を行いました。

<主催事業>

1. 生活・コミュニケーション支援事業

事業名	内 容	
	概 要	詳 細
語学ボランティア	<p>○語学ボランティア 登録者、17言語 203名</p> <p>○通訳・翻訳件数 189件 (含医療通訳・翻訳 24件)</p> <p>○語学ボランティア 懇談会</p>	<p>言語別内訳：(複数登録) 英語 112、中国語 41、韓国語 20、スペイン語 20、 ドイツ語 7、ポルトガル語 2、ロシア語 3、ラオス語 1、 フランス語 3、タガログ語 10、タイ語 3、ネパール語 1、 アラビア語 4、モンゴル語 1、ベトナム語 3、ビサヤ語 1、 インドネシア語 1 計 233名</p> <p>☆災害時通訳ボランティア 登録者数：9言語 97名 ☆医療通訳ボランティア 登録者数：6言語 41名 ☆八王子インフォメーションセンター電話通訳 登録者数：10言語 30名</p> <p>○生活支援事業の通訳 ・「サポートデスク」 ・「行政書士による外国人個別相談」 ・「外国人のための無料専門家相談会」 ・「日本語を母語としない親子のための高校進学が「ダンス」</p> <p>○八王子市海外友好都市交流事業の通訳 ・台湾高雄市八王子まつり訪問団 7月31日(木) 8月1日(金) 2日(土)</p> <p>○八王子まつり案内所通訳 8月1日(金)・2日(土)・3日(日)</p> <p>○八王子市からの資料を翻訳</p> <p>○八王子市の外国人向け情報誌「Ginkgo」の英語、中国語、 韓国語、スペイン語への翻訳</p> <p>○協会の会報、各種案内などの翻訳</p> <p>○日本人・外国人市民からの依頼に基づく手紙などの翻訳</p> <p>○八王子商工会議所から依頼：ホームページ英語翻訳</p> <p>○第3回語学ボランティアの集い ・開催日：9月14日(日) ・会場：学園都市センター 第5セミナー室 ・災害の場を想定して、実践的な研修を防災災害対策委員 会との共催で実施した。 ・内容 1. 翻訳訓練 講師：ロバート マーロウ氏 (翻訳家) 翻訳のポイント 災害時に必要な文章を翻訳 2. 防災訓練 講師：平野 輝雄氏 (防災・災害対応委員会委員長、東京消防庁元職員) AEDの使用法、三角筋の使い方、人形を使った心肺 蘇生法、アルファー米の作り方を学ぶ 3. 懇談会 アルファー米の試食及び交流 参加者：39名 (2. 防災訓練では、語学ボランティアに加えて大学生の 留学生が数十人参加した。)</p> <p>○英語語学ボランティアの集い ・開催日：平成27年3月29日(日) ・会場：学園都市センター第1セミナー室</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・内容 1. 翻訳訓練 講師：ロバート マーロウ氏（翻訳家） 2. コミュニティ通訳ロールプレイ 3. 懇談会 <p>参加者：29名</p>
	<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> * 防災・災害対策委員会との連携で大変実践的な研修が実施できた。 * 従来の語学ボランティアの活動に加えて、八王子市などから通訳・翻訳の依頼が増えた。 * 語学ボランティア同士の情報交換とスキルアップのため、語学ボランティア懇談会を開催し、交流の輪が広がった。 * 八王子商工会議所との翻訳契約を締結した。 <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> * 東京都主催の語学ボランティア向け研修会への参加者が少ない。 * ボランティア活動の機会や範囲が増えるよう、引き続き語学ボランティアの周知度を高めていく。 	
<p>医療ボランティア (委員会)</p>	<p>○医療に関わる委員会内の研修、外国人市民との医療通訳に係るミーティング</p> <p>○医療通訳研修会開催 (一般市民対象)</p>	<p>○研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月17日(木) 「八王子市多文化共生プランについて」 講師：多文化共生推進課 平本課長 ・ 5月15日(木) 「風邪」「外科」ロールプレイのシナリオ (3月21日語学ボランティアの集いで使用)について 講師：小林 スミス マーシー氏(アメリカ) ・ 6月19日(木) 「外国人が分かり難い国民健康保険の仕組み」、 国民健康保険の仕組み、高額療養費・限度額適用認定証、 産科医療補償制度 講師：八王子市 医療保険部保険年金課 税担当 吉岡主査、児島主任 給付担当 斎藤主査、加藤主任 ・ 平成27年2月26日(木) 日本での医療体験、医療事情 講師：吉良 アマンダ氏(アメリカ) <p>○第6回医療通訳ボランティア研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日：11月23日(日) ・ 場所：学園都市センター 第5セミナー室 ・ 講師：中村 春木氏 (医学博士、臨床検査技師、通訳案内士、翻訳通訳専門学校校長代行、国際協会医療ボランティア委員会委員) ・ テーマ：内科 ・ 参加者：47名 <p>○第7回医療通訳ボランティア研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日：平成27年3月15日(日) ・ 場所：学園都市センター 第1セミナー室 ・ 講師：中村 春木氏 ・ テーマ：歯科 ・ 参加者：51名

<p>医療ボランティア (委員会)</p>	<p>○八王子市医療・保健に関する多言語化について</p> <p>○委員会</p>	<p>○市の平成 26 年度版検診ガイド翻訳 (英語、中国語、韓国語、スペイン語)</p> <p>○保健センター 予防接種のお知らせに当協会の医療通訳の案内と医療通訳カードを同封</p> <p>○年 11 回開催 (4/17、5/15、6/19、7/17、9/19、10/23、11/20、12/11、1/22、2/26、3/19)</p>
<p>成果： *一般市民を対象とした医療ボランティア研修会の開催によって当委員会の活動を一般市民にアピールできた。</p> <p>課題： *医療ボランティア委員会委員が少ないので、増員を図る。 *市内医療機関と連携を促進する方策を検討する。</p>		
<p>留学生のための就職支援セミナー</p>	<p>○「留学生のための就職支援セミナー」の開催 対象：日本や八王子の企業に就職を目指している留学生 共催：NPO 法人 留学協会 後援：八王子市、八王子商工会議所、大学コンソーシアム八王子 協力：東京外国人雇用サービスセンター</p> <p>○企業めぐり</p>	<p>○就職支援セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11月29日(土) ・会場：クリエイトホール視聴覚室&第6学習室 ・参加者：留学生21名、関係者10名 ・内容 <p>①「日本の企業に就職するにあたって」 講師：花崎 琢也氏 (東京外国人雇用サービスセンター・ハローワーク新宿・雇用指導官)</p> <p>②「個別就職相談」 相談員：花崎 琢也氏 同センターへの登録により採用情報、相談・セミナーへの参加等フォローアップが行われた。</p> <p>③「日本企業に就職した先輩との交流ラウンジ」 講師：NPO 法人留学協会</p> <p>④「日本の文化・企業の文化」 講師：甲谷 勝人氏 [首都圏情報産業特区・八王子構想推進協議会 (サイバーシルクロード八王子) 代表]</p> <p>⑤「国際化している八王子の企業」 講師：多田 航氏 (市産業振興部企業支援課主任)</p> <p>⑥ 八王子の優良企業の紹介 講師：古瀬 智之氏 (株式会社コスモ計器代表取締役) 講師：鈴木 隆史氏 (株式会社栄铸造所代表取締役)</p> <p>○企業めぐり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：12月3日(水)午前、午後の2コースで実施 ・参加者：午前コース：留学生19名、随行者5名 午後コース：留学生9名、随行者5名 ・訪問先：オリンパス株式会社技術歴史館～ ～株式会社 コスモ計器～株式会社 栄铸造所

	<p>成果： *少子高齢化の中、優秀な留学生のわが国や本市企業への就職は重要な課題である。参加者から「内容が充実していて、大変参考になった」、「企業が求めている人材などを知り、勉強になった」等の感想が寄せられた。次年度も先輩との交流ラウンジを設けるなど、留学生にとってより魅力的なメニューを提供したい。</p> <p>課題： *今後は留学生を採用している企業の訪問に限定せず、市内外の優良企業の訪問を実現するとともに、大学コンソーシアム八王子との連携を図りたい。</p>	
<p>日本語ボランティア養成講座 (委員会)</p>	<p>○「日本語ボランティア基礎講座」の開催</p> <p>○「日本語ボランティア・ステップアップ講座」の開催</p> <p>○委員会</p>	<p>○日本語ボランティア基礎講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：6月3日～7月8日 火曜日 全6回 ・会場：学園都市センター 第3・4セミナー室、第5セミナー室 ・対象者：日本語ボランティアを始めようとしている方 日本語ボランティア初歩の方 ・受講者数：28名 ・講師：林川 玲子氏（東京日本語ボランティアネットワーク事務局長） 金子 広幸氏（東京日本語ボランティアネットワーク講師） ・講座内容 <ul style="list-style-type: none"> * 地域日本語ボランティアとは・・・ ＝その目的と役割、その心構え＝ * 日本語とはどんな言語？ 知識としての日本語＝日本語の特徴、文法、語彙の特性、音声、文字・表記、外国語としての日本語＝ * 外国人学習者の日本語の習い方＝「日本語の教え方」を習うのではなく、「日本語の習い方」を習おう「文法積み上げ型ではない活動例」 * 八王子国際協会団体会員の日本語ボランティア団体の紹介を行った。 <p>○講座終了後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座終了後、事務局より電話で日本語ボランティアへの参加呼びかけを行った。 <p>○日本語ボランティア・ステップアップ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：10月25日～11月29日 土曜日 全4回 ・会場：学園都市センター 第3・4セミナー室、第5セミナー室 ・対象者：日本語ボランティアをしている方 日本語文法など基礎学習を終えた方 ・受講者数：28名 ・講師：森 篤嗣氏（帝塚山大学現代生活学部准教授） 岩田 一成氏（聖心女子大学文学部准教授） ・講座内容 <ul style="list-style-type: none"> * 「やさしい日本語」とは * 「にほんご これだけ！1・2」の使い方 * 先輩ボランティアとの談話会 <p>○講座終了後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より電話で日本語ボランティアへの参加呼びかけを行った。 <p>○年4回開催 3/8、5/17、7/12、11/29</p>

	<p>成果： * 3年前に初参加以来、市内にある 17 ある市民センターのうち、合計 10 の市民センターの防災訓練に参加したことになる。あと 3 年で一巡する。</p> <p>課題： * 支援スキームの周知度は道半ばであり、関係先や外国人へのさらなる周知策が必要である。 * 訓練時の外国人支援センターと語学ボランティアの携帯電話による連絡が必ずしもスムーズではなく、改善が必要である。</p>	
<p>学習支援 (委員会)</p>	<p>○北野学習支援教室 外国人定住者の多い北野町で運営</p> <p>○八王子駅前学習支援教室を開設 ・対象児童・生徒の通学の利便性で教室を選択できる</p> <p>○日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンス 保護者を交え通訳を配し開催</p> <p>○委員会</p>	<p>○北野学習支援教室 ・学習日時：毎週水曜日 15:00～19:00 ・平成 27 年 3 月末の学習者数：13 名 学習支援者数：18 名 ・ 4 月～ 3 月まで全 40 回 ・ 月 1 回の支援者ミーティングで学習支援の情報・状況等を共有し、より良い学習の環境づくりを常に検討</p> <p>○八王子駅前学習支援教室 ・学習日時：毎週月曜日 16:00～19:00 ・ 4 月～ 3 月まで全 34 回 ・平成 27 年 3 月末の学習者数：12 名 学習支援者数：14 名 ・ 学期に各 1 回のミーティングで情報交換</p> <p>○通訳者への事前研修 ・研修会：9 月 27 日 (土) ・参加者：17 名 日本の教育制度・高校入試の仕組みや用語を事前に研修</p> <p>○高校進学ガイダンス ・実施日：10 月 19 日 (日) ・学園都市センター第 1 セミナー 室 ・参加者：29 名 (内訳) 相談者生徒 12 名、保護者等 17 名 ・スタッフ: 中学・高校教諭、ボランティアなど 45 名</p> <p>○毎月第 1 水曜日 (8 月を除く)、支援の前に委員会を開催</p>
	<p>成果： * 児童・生徒にとって学習支援教室は、学習の場であると同時に「居場所」となり、母語や文化など自分のルーツを大切にしたい学習がすすめられるようになった。 * 支援者による保護者のヒアリングを行うことで、学習者親子の学習に対する意識が高まり、保護者の信頼がより強くなり、学習への参加する意欲が高まった。また支援者も学習者の様子を知ることで、その子に合わせた支援が行えるようになった。 * 北野学習支援教室と八王子駅前学習教室では、通室している子どもたちの学習環境が異なり、対応の仕方も変わってきている。 * 本年の中学 3 年生 5 名全員が入試に挑み、各自の目標に向けて進学することになった。</p> <p>課題： * 近年、成長してから来日する児童・生徒の数が増えている。「八王子駅前教室」では、日本語の習得が十分でない上記の児童・生徒が目立っている。さらに日本の小学校・中学校における学習経験の積み重ねと日本語の学習用語が不足しているケースが多くみられる。</p>	

2. 国際交流事業

事業名	内 容	
	概 要	詳 細
留学生八王子ふるさとプログラム (委員会)	<p>○交流プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子を「第二のふるさと」と思ってもらえるよう留学生と市民ファミリーとの交流の場を提供し、双方が楽しい時間を共有するとともに八王子の街に親しんでもらうことを企画 ・留学生とファミリーの交流イベントを開催 <p>○交流会で出会ったファミリーと留学生の個人交流</p>	<p>○バーベキューパーティ</p> <p>5月31日(土)</p> <p>開催場所：高尾の森わくわくビレッジ</p> <p>参加者：留学生11名 ファミリーなど27名 子ども(含幼児)6名 合計 44名</p> <p>プログラムの説明会・顔合せパーティとした NPO 法人八王子レクリエーション協会の協力を得た</p> <p>○ハイキングのつどい</p> <p>10月25日(土)</p> <p>開催場所：小比企町から湯殿川 沿いウォーキング 磯沼ミルクファーム、片倉城址公園を見学、交流会</p> <p>参加者：留学生11名 ファミリーなど10名 合計 21名</p> <p>○日本料理交流会</p> <p>平成27年1月31日(土)</p> <p>開催場所：萌愛調理師専門学校</p> <p>日本料理(魚のさばき、刺身などの実技見学、調理体験)と日本食文化を学んだ</p> <p>参加者：留学生6名 ファミリーなど14名 合計 20名</p> <p>○イベントの前と後に、委員会を開催(4/7、5/19、5/31、9/9、9/24、10/10、10/25、1/27、1/31、2/20)</p>
	○委員会	
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> *昨年と同様に全体交流会を複数回開催することで、留学生やファミリーが、気楽に参加できる機会を多くするように、イベントの事業を進めてきた。 <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> *どの交流会も参加者からは、満足した声が聞かれたが、参加者数が伸びず事業規模が広がらなかった。 *事業の本来の目的の、留学生と市民の交流の場という意味合いとその必要性が時代の流れから変化しつつあるというのが、委員会での意見のまとめである。 *次年度の事業展開には別の視点で取り組みをする必要があり、大学コンソーシアム八王子との留学生の生活・活動支援事業との連携も合わせて検討することとなった。 		

<p>国際交流 フェスティ バル (委員会)</p>	<p>○国際交流フェスティバル開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日： 11月9日(日) 11:00～17:00 ・来場者：1,200名 ・協力外国人の参加： 16か国 70名 ・JICA 地球広場 八王子学生委員会、 八王子市と共催 ・テーマ 『今、八王子から はじまる世界 との絆 ～Peace by Pieces～』 <p>○委員会</p>	<p>○国際交流フェスティバル 2014</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージパフォーマンス：12組(内：外国6組)、異文化交流：13か国の出展、遊び(日本：3組、外国：5組)の出展を得て、国際色豊かな発表ができた。 ・昨年に引き続き、市民から「笑顔」の写真を募集して、笑顔の写真展を実施した。来場者による「シール」の数で優秀賞を決定し表彰し、高尾登山電鉄、高尾山薬王院、八王子観光協会、NTT 東日本、八王子市などから提供された協賛品を賞品として授与した。 ・日本人市民をはじめ外国人市民・留学生・学生・ボランティアのグループなどの協力で、市民と外国人市民との交流、パフォーマンス、日本文化や外国文化の紹介ができた。 ・フェイスペイントなど子どもが楽しめる遊び体験、チェロの演奏体験、八王子の観光案内など幅広く展開した。 ・来場者に楽しみながら国際交流を経験してもらい、国際交流の広場を提供できた。 ・外国人によるお国自慢スピーチは8人が自分の思いを語った。 ・主なイベント： ステージパフォーマンス(12組) 異文化交流スペース(13か国) フェアトレードカフェ「MARCHE」 フェース・フィンガーペイント 「笑顔」の写真展(58枚) 八王子市海外友好交流都市の写真展 外国人によるお国自慢スピーチ JICA 青年海外協力隊の展示と講演 お茶席、世界の遊び、日本の遊び ゆるキャラ「松姫マッピー」(八王子商工会議所の協力) 腹話術(ター坊)と似顔絵、ヨガセラピー 広報掲示用の応募ポスターの展示 チェロ演奏体験・ミニコンサート 外国人のための相談会、協会団体会員の出展 八王子市の観光案内、NTT 災害ダイヤル案内袋 ゴミの減量対策(多言語ごみカレンダー配布等) <p>○年12回開催 (4/7委員長選出、5/15、6/5、6/27、7/17、8/8、9/1、9/24、10/17、10/30、11/4当日分担の確定、11/25反省会)</p>
	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> *16か国70名の外国人の参加で、ステージパフォーマンスや異文化交流などで国際色豊かなフェスティバルが開催できた。 *幼稚園児やよさこいソーランチームの参加やフェース・フィンガーペイントの出展で、家族ぐるみで子どもも喜ぶフェスティバルが提供できた。 *約48名の学生、国際協会の会員、外国人市民のボランティアの協力で、会場準備と後片付けもスムーズにできた。 *ジェイコム八王子の取材と放映や「よみっこ」などのタウン誌等で掲載されPR効果を得られた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> *実施1週間前になっても出展者(数名)の確定が出来なくて、前日まで調整に苦労した、来年度の課題とする。 *共催団体八王子学生委員会との連携を推進していく。 	

<p>世界の人とふれあいタイム実施</p> <p>世界の人とふれあいタイム (委員会)</p> <p>○委員会</p>	<p>○世界の人とふれあいタイム実施</p> <p>○10周年記念懇親イベント 4月20日(日)午後 ゲスト:8名 参加者:57名 カリル カラントル氏(第2回2004.6.20アゼルバイジャン) 渡邊 ファティマ氏(第6回2004.9.26モロッコ) キョー ミン氏(第21回2006.2.19ミャンマー) エレナズ ジャラリー氏(第30回2006.11.19及び 第67回2014.2.2イラン) ラハマン ハムザ氏(第54回2011.6.19ガーナ) ポパル ダウド氏(第49回2010.4.18アフガニスタン) 鈴木 サリマ氏(第58回2012.4.22アルジェリア) イアン フランシス氏(第68回2014.6.29フィリピン)</p> <p>○世界の人とふれあいタイム ・第68回 6月29日(日) 参加者:52名 国:フィリピン ゲスト:イアン フランシス リリョ ドウエニヤス氏 ・第69回 9月28日(日) 参加者:36名 国:アメリカ ゲスト:小林 マーシー氏 ・第70回 11月30日(日) 参加者:51名 国:ミャンマー ゲスト:キョー ミン氏 ・第71回 平成27年2月1日(日) 参加者:68名 国:アゼルバイジャン ゲスト:カラントル カリル氏、バギロフ フアド氏</p> <p>○年5回のイベントの終了後に、反省会と次回のゲストスピーカーとの打合せを行った。 (6/29、9/21、11/30、2/1、2/18)</p>	<p>○10周年記念懇親イベント 4月20日(日)午後 ゲスト:8名 参加者:57名 カリル カラントル氏(第2回2004.6.20アゼルバイジャン) 渡邊 ファティマ氏(第6回2004.9.26モロッコ) キョー ミン氏(第21回2006.2.19ミャンマー) エレナズ ジャラリー氏(第30回2006.11.19及び 第67回2014.2.2イラン) ラハマン ハムザ氏(第54回2011.6.19ガーナ) ポパル ダウド氏(第49回2010.4.18アフガニスタン) 鈴木 サリマ氏(第58回2012.4.22アルジェリア) イアン フランシス氏(第68回2014.6.29フィリピン)</p> <p>○世界の人とふれあいタイム ・第68回 6月29日(日) 参加者:52名 国:フィリピン ゲスト:イアン フランシス リリョ ドウエニヤス氏 ・第69回 9月28日(日) 参加者:36名 国:アメリカ ゲスト:小林 マーシー氏 ・第70回 11月30日(日) 参加者:51名 国:ミャンマー ゲスト:キョー ミン氏 ・第71回 平成27年2月1日(日) 参加者:68名 国:アゼルバイジャン ゲスト:カラントル カリル氏、バギロフ フアド氏</p> <p>○年5回のイベントの終了後に、反省会と次回のゲストスピーカーとの打合せを行った。 (6/29、9/21、11/30、2/1、2/18)</p>
	<p>成果</p> <p>*外国人ゲストスピーカーに出身国の現状、文化、歴史の話を映像などで紹介してもらい、参加者との交流や国際理解を深めた。毎回満席の状態である。</p> <p>*今年度は10周年記念懇親イベントを企画して、過去のゲストスピーカー8名や関係者、参加市民を迎えて交流を深めあった。「10周年記念誌」を発行し配布した。</p> <p>*ビデオ、写真撮影や受付などのボランティアに会員や一般市民の参加と協力があり、ジェイコム八王子で、当日の様子が放映された。</p> <p>課題:</p> <p>*ゲストスピーカーがなかなか決まらない悩み。</p>	
<p>地域における国際交流</p>	<p>第35回記念八王子いちよう祭り祭典に初参加</p>	<p>○昨年までは地域2ヶ所のイベントに「国際交流コーナー」を設置して韓国、エスニック料理を市民へ提供していた。</p> <p>○今年は八王子いちよう祭り祭典本部より「第35回記念事業・テーマ“世界発信!世界の人との国際交流”」企画運営に協力支援の要請があり参加した。</p> <p>○11月15日(土)、16日(日)の両日で約52万人と過去最高の来場者で賑わった。</p> <p>○2日間、外国人市民による民族音楽や民族芸能による舞台パフォーマンスを披露した。</p> <p>○参加国はアリランチャンゴ民族打楽器演奏、台湾原住民舞踊団、アメリカ横田基地タナバタダンサーズダンスカンパニー、インドネシア舞踊団が協賛出演した。</p>

	<p>成果</p> <p>*特に式典会場での民族芸能披露、約1時間のテレビ生放送中継や特別番組再放送、企画書、チラシ等の刊行物に八王子国際協会名の掲載は一般市民向けPR効果に繋がった。</p> <p>課題</p> <p>*地域における国際交流の予算50,000円を充当し対処したため費用面で大変苦労した。</p> <p>*当祭典は2020東京五輪・パラリンピックまでは国際交流イベントを実施したい意向、国際協会の組織的な対応(予算を含む)に工夫を要する。</p>
--	---

3. 国際理解事業

事業名	内 容	
	概 要	詳 細
語学シリーズ (委員会)	<p>○市民に語学学習を通して、その国の文化・歴史を理解してもらい、国際理解や多文化共生社会の促進に貢献</p> <p>○「語学講座」の開催 5か国語10コースの講座を木曜日と金曜日に実施</p>	<p>○春期講座：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてのフランス語 全10回 開催日：5月8日～7月10日 講師：ステファン デュセリエ氏 参加者：24名 ・初めてのドイツ語2 全10回 開催日：5月8日～7月10日 講師：宮本 アンドレア氏 参加者：24名 ・時事英語 全10回 開催日：5月9日～7月11日 講師：キャロリン オバラ氏 参加者：18名 <p>○秋期講座：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてのフランス語2 全10回 開催日：9月25日～11月27日 講師：ステファン デュセリエ氏 参加者：26名 ・初めてのドイツ語3 全10回 開催日：9月25日～11月27日 講師：宮本 アンドレア氏 参加者：25名 ・初めてのポルトガル語 全10回 開催日：9月26日～11月28日 講師：後藤 ルーシー氏 参加者：9名 ・時事英語 全10回 開催日：9月26日～11月28日 講師：キャロリン オバラ氏 参加者：22名

	<p>○委員会</p>	<p>○冬期講座：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてのフランス語 3 全 10 回 開催日：平成 27 年 1 月 15 日～3 月 27 日 講師：ステファン デュセリエ氏 参加者：26 名 ・初めてのイタリア語 全 10 回 開催日：平成 27 年 1 月 15 日～3 月 27 日 講師：スッチ マッシモ氏 参加者：27 名 ・時事英語 全 10 回 開催日：平成 27 年 1 月 16 日～3 月 20 日 講師：キャロリン オバラ氏 参加者：26 名 <p>○年 6 回開催（4/15、6/21、9/2、10/15、12/15、3/7）</p>
	<p>成果：</p> <p>* 3 期 9 コース～10 コースの学習は定着してきている。一昨年より初級受講者全員（希望者）がステップアップ講座を受講できるようにしたが、受講者の強い希望もあり、今年度から最大 3 回まで継続受講できるようにした。トピックスをフリーに話し合う形式の「時事英語」は受講者から好評を得ているが、来季は東京オリンピックを控えて、「旅行英語」を新設する予定である。</p> <p>課題：</p> <p>* 講師の確保、最適な受講者数（現在は最大 26 名）などが当面の課題である。 * 会場が民間ビルの地下室のため、学習環境に多少の問題がある。</p>	
<p>国際理解教育 （委員会）</p>	<p>○国際理解教育授業への協力 学校へ外国人講師を派遣</p> <p>○教育委員会の夏期の教員研修での国際理解教育に協力</p> <p>○協会での職場体験等受入れ</p> <p>○八王子国際協会の国際理解教育の指針と方向性を検討・確立</p> <p>○委員会</p>	<p>○学校での国際理解教育授業への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校：小学校 7 校 中学校 1 校 都立高等学校 1 校 ・外国人ゲストティーチャー登録数：31 名 ・JICA 多摩地区デスクと協働で実施 <p>○研修等の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現任教員の 10 年目研修として職場体験を受入れ ・市内中学生の職場訪問や職場体験活動の受入れ <p>○指針、取り組み内容、申込み方法を文書で作成</p> <p>○国際理解教育プロジェクト委員会の協力を得て、新体制で委員会を再開</p> <p>○年 6 回開催（10/17、11/25、12/22、1/5、2/3、3/3）</p>

	<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> *プロジェクト委員会から委員会に移行し、新委員を迎え新たに活動に取り組んでいる。 *学校での国際理解教育授業への協力は、以前協力校の校長・副校長で異動した等学校でも依頼をしてくるなどで、依頼件数が増えている。 *国際理解教育授業を行う学校の意識が向上しつつあり、道徳・環境・キャリア教育などの分野を取り入れた授業プランが多くみられる。そのために、ふさわしい授業協力ができるように、協力外国人ゲストティーチャーを育成する必要が出てきている。 <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> *学校への外国人講師派遣の人選にあたり、適正・日時・諸費用などの調整に苦勞する。
--	--

4. 広報事業

事業名	内 容	
	概 要	詳 細
広報 (委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ○会報の発行 ○ホームページの管理と改訂 ○市の広報紙、ジェイコム八王子、新聞、ミニコミ紙などを通じて活動情報を広報 	<ul style="list-style-type: none"> ○会報「地球市民プラザ八王子だより」 <ul style="list-style-type: none"> ・偶数月に発行(第35号～第40号)、広報委員会で紙面の企画・構成を検討(会員数も掲載) ・字体を大きくし、写真を増やすなどして読みやすい紙面を目指す ・八王子国際協会の団体会員のインタビュー取材と掲載 ・会報をホームページへ転載 ・日本語版の他、英語・中国語版の会報も発行してホームページに掲載 ○ホームページリニューアル <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ内容を再検討 ・「必要な情報がすぐ得られる」ホームページを目指してリニューアルした。 ・「外国人のための役立つ情報」コーナーは、わかりやすい日本語で説明し、漢字にふり仮名をつけた。 ・自動翻訳(Google Language Translator)を導入して、多言語に簡易翻訳する機能を装備した。 ○市広報紙での広報活動 <ul style="list-style-type: none"> 「広報はちおうじ」や外国人向情報紙「Ginkgo」、外国人のモバイル情報などに講座やイベント情報を提供 ○テレビ、新聞、ミニコミ紙に活動情報を提供 <ul style="list-style-type: none"> ①防災・災害関連 <ul style="list-style-type: none"> ・ジェイコム八王子 6月8日：語学ボランティア懇談会 ②国際交流フェスティバル関連 <ul style="list-style-type: none"> ・ジェイコム八王子 11月8日：事前案内 11月10日：開催模様の放映 ・読売新聞多摩版“いちよう祭りで国際交流” ・「よみっこ」：出展・出演者の記事を掲載 ③世界の人とふれあいタイム <ul style="list-style-type: none"> ・ジェイコム八王子 10周年記念行事(4月)を取材・放映 ・「よみっこ」：アゼルバイジャンの話(2月)記事を掲載

	<p>○オトパに出展</p> <p>○委員会</p>	<p>④地域における国際交流（八王子いちよう祭に参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読売新聞多摩版掲載（11月13日）事前紹介の記事 ・ジェイコム八王子（J:COM） 当日の民族音楽・民族舞踊の様子は生中継の実況とニュースや特集番組で再放映 <p>⑤地域活動関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町自連だより 16号（10月1日）：夏祭り <p>⑥“在来外国人活躍の機会”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読売新聞全国版の掲載（11月23日） <p>⑦2020 東京五輪でおもてなし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本経済新聞全国版（平成27年1月6日夕刊）に掲載 <p>○その他ミニコミ紙等を通じ情報発信 ショッパー、はちとび、ぱど、国際人流、地域情報紙「よみっこ」など多数</p> <p>○第16回お父さんおかえりなさいパーティ （3月7日 会場：八王子労政会館）に、出展して当会の活動をアピールして会員の募集活動を行った。 また、団体紹介冊子に当協会の紹介案内を掲載した。</p> <p>○年11回開催（4/3、5/30、7/15、8/26、9/30、10/28、11/26、12/22、1/20、2/25、3/25）</p>
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> *積極的な広報活動により、各種メディアや地域情報誌等に当協会の活動が紹介され、認知度が上がった。 *また、読売新聞全国版“在来外国人活躍の機会”、日本経済新聞全国版“東京五輪で、おもてなし、多国籍チーム始動”が掲載され、協会の知名度が向上した。 *協会会報に団体会員の紹介欄を連載し各団体の活動状況が周知され共有化された。 *ホームページをリニューアルして、読みやすくした。 <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> *会員と手軽に双方向のやり取りができる紙面づくりを検討したい。 		

<八王子市からの受託事業>

事業名	内 容	
	概 要	詳 細
<p>在住外国人のためのサポートデスク</p>	<p>○外国人のための生活相談、専門家の窓口紹介、暮らしの情報提供</p> <p>○行政書士による外国人個別相談の実施</p>	<p>○サポートデスク対応相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談日時：月～土曜日 午前10時～午後5時 ・相談件数：1149件（4月～27年3月） （生活相談289、就労関係19、日本語支援206、ボランティア希望195、その他440） ・相談内容：学習支援、大学進学、ビザ、永住権、帰化、労働問題、年金、保険、税金、医療、離婚、通訳・翻訳など ・相談者国別人数：計1149名 （日本493、中国186、韓国39、フィリピン139、ペルー25、ブラジル6、アメリカ29、他38か国232） <p>○行政書士の相談内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談日：毎月第2土曜日 午後2時～5時 ・相談件数：28件（4月～27年3月） ・相談内容：ビザ、離婚、子どもの呼び寄せ、遺産等

	<p>成果： *八王子の在住外国人の増加とともに相談件数も増加し、問題は複雑化し、多様化している。問題解決のための他機関との連携もより緊密にできるようになってきた。</p> <p>課題： *日本語・英語以外（中国語等）での十分な対応体制ができていない。 *何度も相談に来る人、問題が解決できなくても話に来る人もいる。</p>
<p>外国人のための無料専門家相談会（委員会）</p>	<p>○第12回「外国人のための無料専門家相談会」の開催 東京外国人支援ネットワークによる都内17ヶ所の「リレー相談会」のうちの1回を八王子市で実施</p> <p>○フィードバックミーティング</p> <p>○研修会の実施</p> <p>○事前シミュレーション研修の実施</p> <p>○反省会（委員会兼）</p> <p>○委員会</p> <p>○無料専門家相談会 ・開催日：平成27年2月8日（日） ・場所：学園都市センター ギャラリーホール ・相談件数：20件 （ビザ、年金、家族、離婚、住宅、DVなど） ・相談者数：17人（同伴者を除く） 相談者国別人数： 中国6、フィリピン4、韓国1、米国1、メキシコ1、ベトナム1、ニュージーランド1、パキスタン1、イタリア1 ・運営者数：専門家・相談員10名、通訳14名、スタッフ15名 ・八王子市との協働</p> <p>○当日相談会終了後 相談会参加者全員（専門家、相談員、通訳、運営スタッフ）から相談会について感想、意見を発表してもらった。</p> <p>○研修会 「外国人相談における法律相談の基礎知識・事例検討」 ・開催日：12月13日（土） ・場所：国際交流室 ・講師：栗原 亮介 弁護士 （多摩パブリック法律事務所） ・参加者：24名</p> <p>○事前シミュレーション研修 ・開催日：平成27年1月31日（土） ・場所：学園都市センター 第1セミナー室 ・内容：運営スタッフ・通訳の顔合わせおよびロールプレイングによる役割・動きの確認を行った。 ・参加者：21名</p> <p>○次年度以降の相談会をより充実するため、今回の相談会の「実施記録」「フィードバックミーティング集計」専門家、相談員、通訳、運営スタッフ、相談者からの「アンケート」を検討し、今回相談会の総括（反省）をした。</p> <p>○年4回開催（8/4、10/7、12/13、2/20）</p>
	<p>成果： *昨年度より相談者が増え、八王子市外からも相談者が来ており、PRの効果があつた。 *シミュレーションをし、本番にもう一度流れを確認したので、戸惑わずにできて良かった。</p> <p>課題： *税理士がいた方が良くと相談対応の専門家から指摘があつた。 *ここ2～3年の相談ニーズを整理し、外国人のニーズに即した相談体制ができるとうい。 *ブースとマッチングの流れ、集計表、通訳、専門家・相談員の動きなどもう少し工夫が必要な部分もあつた。</p>

<p>外国人市民の地域への防災訓練参加 (委員会)</p>	<p>○町会・自治会主催の防災訓練に外国人、語学ボランティア、協会職員が参加</p> <p>外国人市民を対象に、災害時の対応等も含めた外国人の防災意識の向上に資するとともに外国人市民と地域のつながりのきっかけづくりとするため町会・自治会等と連携し、外国人市民を対象とした地域の防災訓練に参加</p> <p>○委員会</p>	<p>○地域の防災訓練参加</p> <p>1. 片倉台自治会防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：10月4日(土) ・会場：片倉台小学校 ・外国人参加者：12名(ニュージーランド、ネパール、スリランカなど) ・訓練の内容：消火訓練、AED講習、煙体験、はしご車体験、倒壊家屋救出運搬訓練等(指導：八王子消防署北野出張所) <p>2. 北野町町会防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：10月26日(日) ・会場：八王子市役所北野事務所 ・外国人参加者：15名(中国など) ・訓練の内容：初期消火、発災訓練、煙体験、起震車体験、炊き出し訓練等(指導：八王子消防署北野出張所) <p>○年3回開催 (7/16、9/4、2/9)</p>
<p>成果：</p> <p>*八王子市に居住する外国人が、居住する町会・自治会主催の防災訓練に参加することにより、支援スキームの外国人への周知が浸透し、訓練へ参加する外国人の増加が期待できる。また、自治会の関心度が高まり効果は抜群である。</p> <p>課題：</p> <p>*地域在住の外国人が把握されていない。</p> <p>*町会の日常活動に外国人市民に対する視点がない。</p>		
<p>国際理解教育プログラム開発および講演会等 (委員会)</p>	<p>○プログラム開発</p> <p>○研修会・講演会の実施</p> <p>○プロジェクト委員会</p>	<p>○中学生授業用のプログラムを作成 「八王子市における多文化共生」</p> <p>○市民のための国際理解講座 「カルタ・紙芝居で学ぶ移民の歴史と多文化共生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：12月14日(日) ・会場：学園都市センター 第3第4セミナー室 ・講師：中山 京子氏(帝京大学教育学部教授) ・参加者：24名 <p>○楽しみながら学ぶ国際理解教育 「異文化を知れば日本がわかる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成27年1月25日(日) ・会場：学園都市センター 第5セミナー室 ・講師：浦 輝大氏(JICA 多摩地区デスク) ・参加者：43名 <p>○教員のための国際理解教育ワークショップ 「多文化共生をめざす内なる国際理解教育への一歩」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成27年2月6日(金) ・会場：学園都市センター 第1セミナー室 ・講師：中山 京子氏(帝京大学教育学部教授) ・参加者：7名 <p>○年5回開催 (4/29、5/17、7/4、7/30、9/9)</p>

	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> *国際理解教育特別プロジェクト委員会の協力を得て、学習指導要領の社会科公民的分野の内容に基づいた中学生用のプログラムを開発することができた。 *市民向け講演会（ワークショップ）では、普段の生活の中で定着している国際理解および国際理解教育という言葉にとらわれない、まず身近な異文化を理解することの大切さを学んだ等、参加してよかったというアンケートの結果にみられるように、市民意識の向上につながった。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> *プログラム作成において、文部科学省の学習指導要領を学習し教科に応じたプログラムを作り実践していくのには、相当な知識と労力を要する。 	
<p>コミュニケーション支援</p>	<p>○外国人市民のネットワークの構築および外国人キーパーソンの育成 （外国人コミュニティ支援プロジェクト委員会）</p>	<p>○Facebook を活用して、フィリピン人、スペイン語圏人のコミュニティを結成した。</p> <p>○コミュニティグループに参加できるようにグループイベントを開催して、PR に努めた。</p> <p>○コミュニティグループイベント</p> <p>第1回 「絵手紙をかこう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：7月5日（土） ・会場：国際交流室 ・講師：清水 治子氏 ・参加者：19名（含む中国、韓国、台湾、フィリピン、アメリカ） <p>第2回 「坐禅会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：8月30日（土） ・会場：禅東院 ・参加者：7名（含む中国1名、ドイツ1名） <p>第3回 「ビール工場見学」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11月3日（月） ・会場：サントリービール武蔵野工場 ・参加者：7名（含む中国1名、スペイン1名） <p>第4回 「着物を着よう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：12月19日（金） ・会場：学園都市センター 和室 ・講師：樋口 ガブリエラ氏(エクアドル) ・参加者：2名（含む中国1名） <p>第5回 「忘年会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成26年12月20日（土） ・会場：ペルー料理 ミスキー ・参加者：8名（含む中国1名） <p>第6回 「着物を着よう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成27年1月30日（金） ・会場：学園都市センター 和室 ・講師：樋口 ガブリエラ氏(エクアドル) ・参加者：3名（含む中国1名、ベトナム1名） <p>○外国人キーパーソン育成 講演等派遣 八王子市多文化共生フォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：1月15日（木） ・会場：学園都市センター12F イベントホール ・テーマ：「外国人と共に暮らすために」

		<p style="text-align: center;">～心と心がつながるおもてなし～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会「お・も・て・な・し の実践を」 ・講師：河野 正光氏（帝京大学教授） ・参加者：1名（フィリピン） <p>○Facebook の使い方＆「着物を着よう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成 27 年 3 月 20 日（金） ・会場：学園都市センター 和室 ・講師：樋口 ガブリエラ氏（エクアドル） ・参加者：5名（含む中国 4 名・タイ 1 名） <p>○フェイスブック勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 27 年 3 月 22 日（日） ・場所：国際交流室 ・講師：加藤 健氏 （ループスコミュニケーションズ） ・テーマ：Facebook を楽しもう ～Facebook の使い方と注意点～ ・参加者：22 名（含む中国 2、韓国 2 名） <p>○学習支援講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成 27 年 3 月 28 日（土） ・テーマ：母語が日本語でない児童・生徒にどのように関わっていけばよいのだろうか ・講師：今野 博氏（元啓明学園初等学校校長、 現シュタイナー学園高等部非常勤教諭） ・会場：八王子スクエアビル 12F 第 1 セミナー室 ・参加者：24 名 <p>○年 4 回開催（10/25、11/25、11/13、3/22）</p>
	<p>○プロジェクト委員会</p>	<p>成果： *少しずつイベントを通して国際協会の Facebook に興味を持ってもらえるようになり、国際協会にとっても新たな付加価値となっている。</p> <p>課題： *Facebook になじみがない人が多いので、Facebook 自体の説明からする必要がある。 *外国人コミュニティに情報を流す場合、翻訳してアップするまでに時間がかかってしまうため、災害時などの緊急情報には対応できない。</p>